

# ど根性ホタルに会いたくて

— さつま町のホタル舟 —

5月半ば、ホタルの季節を迎えた町では、川内川のホタル舟が乗船客を乗せて運航しました。今年も、昨年7月の豪雨災害で河川環境が変わり、ホタルの数は激減しましたが、災害にも負けず生き残ったホタルの乱舞をひと目見ようと県内外から多くの方が訪れました。

ホタルは、乗船客を迎えるホタル舟スタッフの心温かなもてなしに応えるかのように、川内川の水面で力強く光を放ち、乗船した多くの方に感動を与えてくれました。乗船客の中には「よく生き残ったね。頑張ったね」とホタルの乱舞する光を見ながら、言葉を掛ける方もいました。

災害にも負けず生き残ったど根性ホタルの乱舞は、自然界で生きる力強さと命の尊さを教えてくれました。



## ○奥さつまのホタル舟運航

5月17日から6月3日まで行われ、県内外から1,600人を超える乗船がありました。6回目となる今年も、多くのボランティアスタッフにより運営されました。昨年に比べると、ホタルの数は少ないでしたが、ボランティアスタッフの『まごころ・笑顔』を毎年楽しみに乗船されている、常連の乗船客も多くなりました。



## ○二渡ほたる舟運航

5月18日から6月3日まで行われ、県内外から900人を超える乗船がありました。今年も、昨年の災害見舞いに対するお礼ということで乗船料を保険料のみの300円で運航されました。

ホタルは少なめでしたが、時折見せる「光のウェーブ」に乗船客は歓声を上げていました。

また、5月26日と27日は「二渡ホタル観賞会」も行われ、多くの参加者でにぎわいました。



交通安全を呼び掛ける道衣姿の拳士

## 少林寺拳法宮之城支部拳士

### 交通安全街頭キャンペーン

5月12日、少林寺拳法鹿児島宮之城支部の拳士15人が、国道328号線沿いの船木青果市場前で、交通安全街頭PR運動を行いました。

道衣姿の拳士たちは、警察の協力ももらいながら「安全運転でお願いします」と大きな声を掛けながら、飴とチラシを元氣よく手渡しました。

同支部の交通安全街頭PR運動は、今年で13年目となります。